

ホーチミン医科薬科大学学長が本院を来訪

国際連携推進室

9月30日(水)、ベトナム・ホーチミン医科薬科大学学長のチャン・ディエプ・トゥアン(Tran・Diep・Tuan)氏が本院を訪れました。

今回は、同氏がホーチミン医科薬科大学学長に就任後初めての訪問であり、本学及び本院との今後の交流のあり方や、更なる関係の強化を目的としたものです。また同時に、つくばグローバルサイエンスウィークのオープニング及びクロージング・セレモニーにも出席しました。

当日はじめに、秋山 稔 国際連携推進室長より病院概要の説明があり、その後、院内視察としてビジネス病棟やICU・救急部などを見学し、同氏から多くの質問がありました。

その後、松村 明 附属病院長との懇談がもたれ、ホーチミン医科薬科大学と本院の相互交流をより深めていくための話し合いがされました。その席では、同氏と松村 明 病院長ともに、よりよい相互交流を築くためのアイデアや、受け入れ可能な研修内容など具体的な交流強化の話し合いもすすめられました。帰国前には同氏より、本院内視察や松村 明 附属病院長との懇談が大変印象に残り満足できるものであった旨の報告もありました。

今後の活発な相互交流がますます期待される訪問となりました。



松村 明 病院長と懇談後、記念撮影を行いました。



熱心に説明を聞くホーチミン医科薬科大学長